



## 広島市医師会執行部ニュース VOL. 6

広島市において新型コロナウイルス感染者が初めて報告されてから、3度目の新緑が巡ってきました。

その当時、丸腰で新型コロナウイルスとの戦いを余儀なくされた私たちは、市民の命を守るため、そして最前線でウイルスに立ち向かう会員の皆様のために、今、広島市医師会ができることを全身全霊で考え行動しました。ワクチンと抗ウイルス薬が開発された現在、我々は幸いにして丸腰ではなくなりましたが、感染はいまだ収束する気配はなくむしろ高止まりの状態が続いており、新型コロナウイルスとの闘いは新たなフェーズ入ったと感じています。

全世界が新型コロナウイルスとの戦いを続けている最中、ロシアによるウクライナ侵攻は日ごとにエスカレートし、まるで時代の時計が逆戻りしたような惨劇が、今この時も続いています。ヒロシマが全世界に向けて訴え続けてきた、“核兵器廃絶と恒久平和の実現”への思いを踏みにじる行為であり、断じて許すことはできません。

・・・2年前の春、誰が ” 今 “ を予測できたでしょうか？

さて、現執行部は6月の定時代議員会で2年の任期を終了します。

平時の諸業務に加え、新型コロナウイルス感染症との闘いはまさに有事であり、常に緊張感をもって戦闘態勢を維持する責務があります。

これまでも、これからも、役職員一丸となって、今なすべきことをひとつひとつ積み重ねていかなければなりません。

一般社団法人 広島市医師会会長 佐々木 博

### 1. 第112回臨時時代議員会を開催しました

令和4年3月24日（木）午後7時より、広島医師会館2階講堂にて開催しました。

前回同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面による議決権行使も採用して開催しました。また、今回初めて議場の模様を zoom ウェビナーにより代議員に限定しライブ配信しました。

令和3年度補正予算、令和4年度予算および事業計画について報告を行った後、財産増収分の活用、新会館問題、看護学校の将来構想など、いずれも次年度以降の方向性に関する重要な問題について活発な質疑応答がなされました。詳細につきましては、後日お送りする議事録をご参照ください。

また、第112回臨時時代議員会の資料は、広島市医師会ホームページの会員専用ページに掲載しておりますのでご覧ください。

## 2. 2022 コロナプロジェクトの活動について

- 1) 広島医師会館を利用した新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について  
令和4年4月8日から企業に対する集団接種、一般市民に対する夜間接種を再開しました。
- 2) 新型コロナウイルス感染症軽症者の宿泊療養施設における健康観察について  
令和4年1月から再開している宿泊療養施設における健康観察については、広島県から4月1日以降も継続して協力依頼がありましたので、会員の先生方には引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

## 3. ウクライナからの避難者に対する医療的支援への協力を広島市に対し表明しました

ロシアによるウクライナ侵攻に伴う戦闘は今後長期化が懸念され、広島市においてもウクライナからの避難者が増加した場合に備え、我々広島市医師会は避難者に対する人道的支援の一環として、医療的支援について全面的に協力する意思があることを広島市に対し表明しました。

令和4年3月29日に佐々木会長から松井広島市長に文書を手交し、松井市長からは感謝の意が伝えられました。

本件については、松井市長に提出した文書とあわせて本会ホームページのトップページに掲載しておりますのでご覧ください。



一般社団法人広島市医師会 総務企画課  
広島市西区観音本町1-1-1  
電話:082-232-7321 FAX:082-292-5233